



8/27

## 総合防災訓練 防災意識や知識の向上を図る



- ①町消防団・磯城婦人防災クラブによる放水訓練
- ②心肺蘇生法の実技指導
- ③負傷者の救命の順序を決めるトリアージ
- ④災害時の備蓄食の試食提供
- ⑤放水体験
- ⑥展示車両の前で

8月27日、平野小学校で「田原本町総合防災訓練」が実施され、磯城消防署や町消防団などの関係機関や地域の皆さん約500人が参加しました。

この訓練は、町民一人ひとりの防災に関する意識の高揚と知識の向上を図る機会となることを目的として行われました。

体験コーナーでは、放水体験や初期消火訓練、AED（自動体外式除細動器）を使った救命処置の実技指導、搬送体験などが行われました。

参加者は、訓練の重要性を改めて確認し、防災意識や知識の向上を図りました。



### 今やろう！ 防災アクション

Vol.4

☎ 防災課安全防災係 ☎ 34-2059

「災害備蓄」と聞くと何を想像しますか？ アルファ化米、乾パン、保存水…。「災害時は食事ができない」と食べ物ばかり備えがちです。しかし、食物摂取と排せつはセット。災害時でもトイレに行きたくなくなります。

東日本大震災で3日以内に仮設トイレが行き渡った自治体は、わずか34%であったとのアンケート結果が出ています。仮設トイレは通常、陸送で届くものですが、

交通渋滞や道路の寸断により、すぐに調達できないのが実情です。ドライブ用の携帯トイレや、市販の災害用トイレなどを、普段から買い置きしておくことで安心です。

段ボールトイレを手作りすることもできますので、ホームページなどで作り方を調べてみてください。

段ボールのトイレってどんなのがニャー





▲町長を表敬訪問した田原本中の松井さん（右）

「第44回全日本中学校陸上競技選手権大会」の四種競技に出場した松井泰誠さん（田原本中3年）が奈良県中学記録を更新し、第2位に輝いたことを報告するため、9月2日に森町長を表敬訪問しました。

町長からのお祝いの言葉に、松井さんは「昨年の出場経験から緊張せず大会に臨め、実力を発揮できました。もっと練習して、これからも頑張っていきます」と元気に話していました。

### 松井さんの記録（合計 2845 点）

110m ハードル……15.01 秒（848 点）  
 砲丸投げ………13m21（680 点）  
 走り高跳び………1m86（679 点）  
 400m 走………54.03 秒（638 点）



児童の登下校時の交通事故防止と交通安全を願って、奈良県交通安全協会天理支部協会と天理警察署から「ありがとう横断旗」（交通安全旗）が150本寄贈されました。

寄贈された横断旗は、町内各小学校で2学期から活用されています。

9/2

## 祝・全国大会 第2位！ 陸上四種競技で奈良県中学記録を更新



▲賞状を持って記念撮影。長井詢さん、西森裕十さん、楠田さおりさん、町長、助教（右から）

9月1日、田原本町オリジナルナンバープレートデザイン入賞者の表彰式が行われました。

町民投票で最優秀賞に楠田さおりさんの作品が選ばれました。優秀賞の2点には西森裕十さん、長井詢さんの作品が選ばれました。

最優秀賞に輝いた楠田さんは「自分のデザインが形になって嬉しい。ナンバープレートをつけた原付バイクを見るのが楽しみ」と話していました。

オリジナルナンバープレートは9月1日から交付しています。

詳しくは税務課課税第一係までお問い合わせください。

問 税務課課税第一係 ☎ 34-2112

9/1

## 最優秀賞は楼閣と水仙のデザイン オリジナルナンバープレート入賞者表彰式



8/29

## 交通安全を願って 「ありがとう横断旗」が寄贈



奈良県基幹システム共同化検討会（田原本町を含む7市町）と、日本電気株式会社との間で「災害時の応急対応に関する協定」を締結しました。本協定は、大規模災害時に日本電気株式会社が提供する情報システムやネットワークが被災した場合の応急対応の協力を定めたものです。

8/23

## 大規模災害に備えて 災害時の応急対応に関する協定



▲大自然の中で野外炊飯

8月24・25日、自然の中での体験を通し、協調性や責任感を育てようとして「曾爾高原宿泊体験学習」が国立曾爾青少年自然の家で行われ、小学5・6年生67人が参加しました。

子どもたちは、シニア・ジュニアリーダー（町子ども会連絡協議会）の指導のもと1日目はハイキングやキャンプファイヤーなどを行い、2日目は野外炊飯でカレーを作りました。天気にも恵まれ、大自然の中での共同生活を楽しみました。

8/24~

## 曾爾高原宿泊体験学習

### 大自然の中で共同生活



▲全国大会に出場する大平さん、松井さん、湊さん、町長（左から）

8月16日、湊大智さん（南小6年）、松井優介さん（南小6年）、大平泰誠さん（田原本小6年）が「第33回全国小学生陸上競技交流大会（男子4×100メートルリレーの部）」への出場を報告するため、森町長を表敬訪問しました。

町長から「優勝を目指して頑張ってください」と激励の言葉がかけられ、選手たちは「普段の練習の成果を発揮して頑張ります」と意気込みを語りました。

8/16

## 全国大会への切符を勝ち取る 全国小学生陸上競技交流大会への出場を報告



▲協定を締結した6市町村長とJAF奈良支部長の菊池さん（中央）

8月31日、町役場で「田原本町・川西町・三宅町・橿原市・高取町・明日香村と一般社団法人日本自動車連盟（JAF）との観光連携協定」を締結しました。JAFと複数の自治体で同時に協定の締結を行うのは初めてのことです。

飛鳥川沿いの6市町村が同時に協定を締結し、広域的に連携することで、より効果的な観光ドライブルートへの提案や観光情報を提供することが可能になります。

8/31

## 6市町村とJAF奈良支部との観光連携協定

### 更なる観光情報や地域の発信を



▲手作りのいかだで海へときぞ出す

8月21日・22日に大阪府青少年海洋センターで「スポーツ少年団夏季野外活動」が行われ、団員の小学6年生39人が参加しました。

この活動は、さまざまな海洋活動を通して、各地区の団員と親睦を図ることを目的としています。

団員たちはセンターのリーダーの指導のもと、1日目は湾内でカヌーに乗って競争などをして、2日目はいかだを各班で協力して作り仲間との活動を楽しみました。

8/21~

## 各地区の団員と親睦を図る スポーツ少年団夏季野外活動



9月3日、「2017 クリーンアップならキャンペーン」が行われました。これは県内20コースで美化・清掃活動を行うものです。田原本駅前広場出発のコースには約430人が参加され、駅前広場から2グループに分かれ、約1時間半かけて空き缶やタバコの吸殻などのごみを拾い集めました。



田原本町民夏祭実行委員会が「第26回暴力団・銃器追放奈良県民大会」において近畿ブロック表彰されたことを報告するため、委員会役員が森町長を表敬訪問しました。「今後も町と連携しながら、暴力団と関わることなくおん祭を盛り上げていきたい」と話していました。



田原本町赤十字奉仕団から団長の森町長に義援金を手渡されました。この義援金は、本奉仕団が手作りのお餅を販売した売上の収益を義援金として寄付し、被災地支援のために役立ててもらうためのものです。

日本赤十字社奈良県支部に寄託し、被災地へ届けられます。

9/3

**まちをきれいに**  
クリーンアップならキャンペーン

9/8

**近畿ブロック表彰を報告**  
夏祭実行委員会

9/12

**熊本被災地支援のため**  
義援金を寄付



▲協定を締結した松尾さん（奈良ASPO代表）と町長（左から）

9月6日町役場で、奈良ASPO（アジア土業共同体）と業務連携協定を締結しました。天理市に続き県内2例目の協定締結となります。今後、専門領域と事務所領域を越えた連携チームにより、ワンストップ窓口での幅広い経営支援やセミナーの開催、アジアを中心とした海外展開支援などの企業支援、創業支援にご尽力をいただきます。経営者の皆さん、何かお困りごとがあればぜひご相談ください。



▲田原本町PRコーナー前で握手する奈良トヨタ営業本部長の飯田さんと町長（中央）、関係者ら

9月16日、奈良トヨタと田原本町のコラボイベントが開催されました。これは、奈良トヨタが創立75周年を迎えたことに対して感謝の気持ちを伝えるため、本社のある田原本町との協力で実現したイベントです。店舗には田原本町PRコーナーが設置され、織田畳店、松井ニット（株）とコラボし、来場者にニットクロスと箸置きがプレゼントされました。



▲ニットクロスと箸置き

9/6

**アジアを中心とした海外展開を支援**  
町と奈良ASPOとの業務連携協定

9/16

**奈良トヨタと町のコラボ記念イベント**  
奈良トヨタ創立75周年記念「お客様大感謝祭」